

D A G D A G

島人ぬ宝

僕DがA生まれGたこの島の空をD 僕GはどれDくらい知D#dimってるEmんだらAう

輝Dく星Aも 流Gれる雲Dも 名G前Dを聞D#dimかれてもEmわAからDない

でも誰Aより 誰Bmよりも知Gっている 悲Dしい時Aも 嬉Bmしい時Gも 何A度も見G上げていたこの空Aを

教科書Dに書Aいてある 事BmだけじゃわGからDない 大切Aな物GがきDっと ここAにあるはずGさ

それがEm島人A Gぬ宝

僕DがA生まれGたこの島の海をD 僕GはどれDくらい知D#dimってるEmんだらAう

汚DれてくサンゴAも 減Gって行く魚Dも どうGしたらDいいD#dimのかわEmからAないD

でも誰Aより 誰Bmよりも知Gっている 砂DにまAみれて 波BmにゆGられて 少AしづつG変わAってゆくこの海Aを

テレビDでは映Aせない ラジオBmでも流Gせない 大切Dな物AがきGっと ここAにあるはずGさ

それがEm島人A Gぬ宝

僕DがA生まれGたこの島の唄をD 僕GはどれDくらい知D#dimってるEmんだらAう

トウパDラーマAも デンGサー節Dも 言葉Gの意D味D#dimさえEmわAからDない

でも誰Aより 誰Bmよりも知Gっている 祝Dいの夜Aも 祭Bmりの朝Gも 何A処Gからか聞Aこえてくるこの唄Aを

いつDの日Aかこの島Bmを 離Gれてくその日Dまで 大切Aな物GをもDっと 深Aく知Gっていたい

それがEm島人A Gぬ宝 それがEm島人A Gぬ宝 それがEm島人A Dぬ宝

D A G D A G D